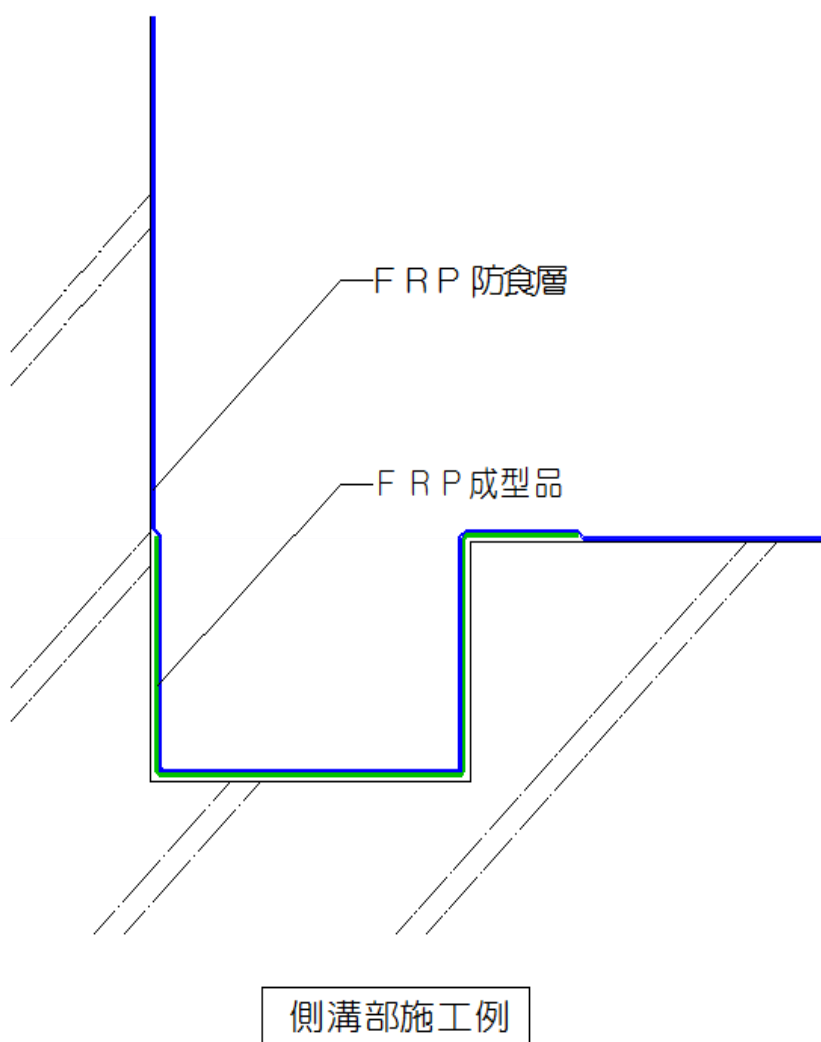


【NEW FRP乾式工法のご提案】

側溝部等の湿潤面でも短工期でFRP防食ライニングができます



<FRP成型品>



<FRP板取り付け>

【乾式FRPライニング工法の特徴】

- ① 下地コンクリートが湿潤面でも施工が可能です
- ② 油分を含んだコンクリートでも施工が可能です
- ③ 事前に製作されたFRP成型品を使用します
- ④ 工期短縮が可能です
- ⑤ あらゆる形状のFRP成型品が製作可能です

《ご注意》

施工の際には適切なコンクリート強度（建研式接着試験 $1.5\text{N}/\text{m}^2$ ）が必要です。また、下地コンクリートの含水率が高いと施工後に不具合が出る場合があります。

詳細は防水防食材料供給会社や販売代理店にお事前にご相談ください。

乾式ライニングまでのフロー

1. 使用環境をお教え下さい
2. 薬液の詳細をお教えください
① 薬品名 ② 濃度 ③ 温度
3. 躯体・下地状況をお教え下さい
4. FRP成型品を作成する形状・サイズをお教え下さい
5. FRP成型品の仕様・FRP防食ライニングのご提案
6. お見積り



FRP成型品仕様

(各仕様#450×1プライライニングより製作可能です)
#450×1プライライニングを約1mmとお考えください。

	仕様	特徴
一般仕様	オルソ系ポリエステル樹脂（硬質）	コストパフォーマンスに優れる
防水仕様	イソ系ポリエステル樹脂（軟質）	躯体追従性に優れる
防食仕様	ビスフェノール系ビニルエステル樹脂（硬質）	耐薬品・耐酸・耐アルカリに優れる
	変性ノボラック系ビニルエステル樹脂（硬質）	耐溶剤・耐酸・耐熱性に優れる

施工中の臭気・工期短縮でお困りの事がありましたら、お問い合わせください

企画・販売・防水防食材供給会社
日豊化学産業株式会社

大阪府吹田市豊津町2番30号
TEL 06-6310-7601
FAX 06-6310-7602